
ICTを活用した介護スタッフの人材育成推進

社会福祉法人 沖縄県社会福祉事業団

名護厚生園

2018年1月24日

1.はじめに

～社会福祉法人沖縄県社会福祉事業団 名護厚生園のご紹介

◆法人の経営理念◆

利用者本位のサービスの質の向上と
経営基盤の強化を図るとともに、
広く地域に貢献し、地域の人々に信頼され
愛される施設（法人）を目指します。

■沿革

- ・昭和44年11月：琉球政府立名護厚生園として設立
- ・昭和47年5月：本土復帰に伴い、「沖縄県立名護厚生園」となる
- ・平成元年4月：沖縄県より沖縄県社会福祉事業団へ運営を委託される
- ・平成3年4月：養護老人ホームの利用定員が30名から50名に増床
ショートステイ8床を新たに設置
- ・平成12年4月：介護保険制度の施行に伴い、特別養護老人ホームを「介護老人福祉施設」と改める
- ・平成18年4月：沖縄県との受託契約終了し、民間法人に伴い「名護厚生園」となる
- ・平成19年5月：居宅介護支援事業所・訪問介護事業所開所
- ・平成29年7月：科学技術振興機構（JST）支援事業「被介護者の状態から得られる情報に基づく質の高い介護サービス支援システムの実装」の実装サイトに選ばれ、状態把握システム「MIMOTE」を導入



本日本話したいこと

- 介護を要する高齢者、幼児等を利用者とするヒューマンサービスでは、利用者が、自分の状態や気持ちを十分に表現・伝達できないことが多くあります。
- そのため、質の高いサービスを提供するためには、現場スタッフが、利用者の日々の状態変化にいか「気づける」かが非常に重要です。
- ICTをうまく活用することにより、現場スタッフの「気づき能力」という非常に人間らしいスキルを見える化（データ化）することができます。
- この発表では、高齢者介護施設において、介護スタッフの利用者様に対する気づきをICTを用いて見える化し、それをスタッフ間で共有することにより、人材育成（スキルアップ、モチベーションアップ等）を推進し、介護サービスの質の向上を図る取組みについてご紹介します。

2. 気づきの見える化とは？ —状態把握システム「MIMOTE」

気づきとは、介護スタッフが日々行っている、
個々の利用者の状態を把握するスキルを指します

介護サービスに対する 従来の捉え方は…

介護知識をもとに状況を判断し、
介護を行う、という捉え方でした。

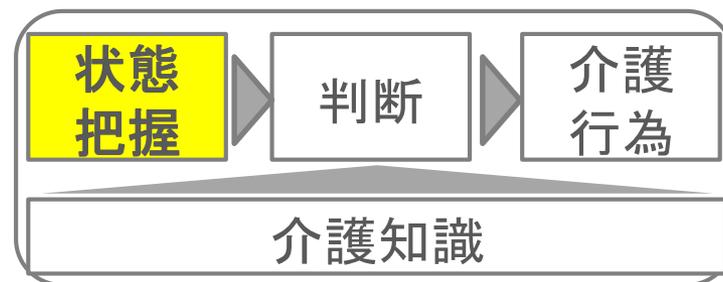
でも…

利用者の状態
や感じ方は、そ
れぞれ異なりま
す。

MIMOTEの捉え方は…

介護スタッフは、介護知識をベースに、日々、
利用者の状態を把握したうえで、状況を判
断し、介護を行っている、という捉え方をし
ています。

利用者の状態に応じたサービスを提供し、利
用者の生活をより良くできるよう、介護スタッ
フの気づきが重要な役割を果たしています。



気づきは、介護スタッフ個々人の主観に基づいて行われます。
介護知識・技術と違い、気づきは定式化されていないため、
内容の共有・比較が困難です。

2.気づきの見える化とは？ —状態把握システム「MIMOTE」

気づきデータを見える化する仕組みは、慶應義塾大学・神成淳司准教授により開発され、「MIMOTE」（“見守る手”から命名）と呼ばれています。

21の気づき項目により構成されます。

分類	説明		21の気づき項目
気づき	利用者の様子が気になった時に記録する項目		表情、仕草、声、意欲
働きかけ	利用者の状態を把握するため、介護スタッフが能動的な働きかけをしたときに記録する項目		声かけ、触れる、思い出
行動	利用者のしている行動(介護スタッフの介助による行動を含む)に関する項目	ケア行動	介助、食事、入浴、排泄、睡眠、歩行、車いす、身支度、
		社会性行動	交流、仕事、楽しみ、独り言、情報
洞察	利用者の状態をより深く考察し、何らかの判断に至った場合に記録する項目		洞察



利用者の状態変化に気づいた項目があれば、「とても良い」「良い」「普通」「悪い」「とても悪い」の5段階から選択

2. 気づきの見える化とは？—状態把握システム「MIMOTE」

介護スタッフは、日々、利用者の状態をスマートフォンを使って入力します。
気づきデータは蓄積され、グラフとして出力されることで見える化します。

気づきデータ

いつ（日時）
※自動で記録

どこで（場所）
※選択

誰が（介護スタッフ）
※自動で記録

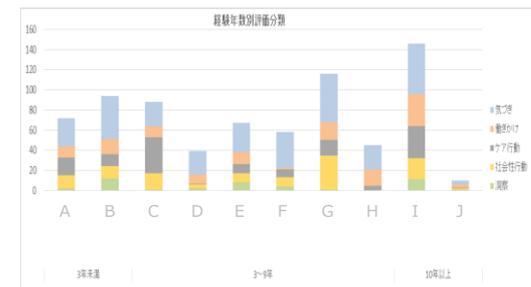
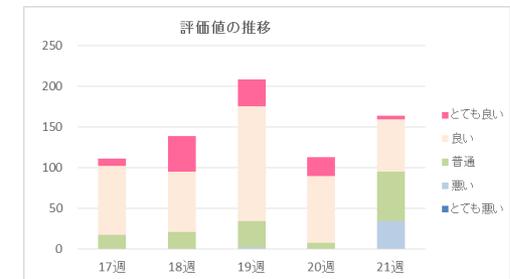
誰の（ご利用者）
※選択

どのような行動や様子に気づいたり、
働きかけを行ったか（21項目）

そのときの利用者の状態はどうだったか
（評価値）
※該当項目の5段階（「とても良い」「良い」「普通」「悪い」「とても悪い」）から選択



グラフ化（見える化）



2.気づきの見える化とは？—状態把握システム「MIMOTE」

利用者別、介護スタッフ別に気づき見える化することで、介護スタッフがこれまで認識できていなかったことがわかるようになります。
スタッフ間で共有することで、熟練者から非熟練者へのスキル移転を可能にします。

気づきの見える化による直接的効果

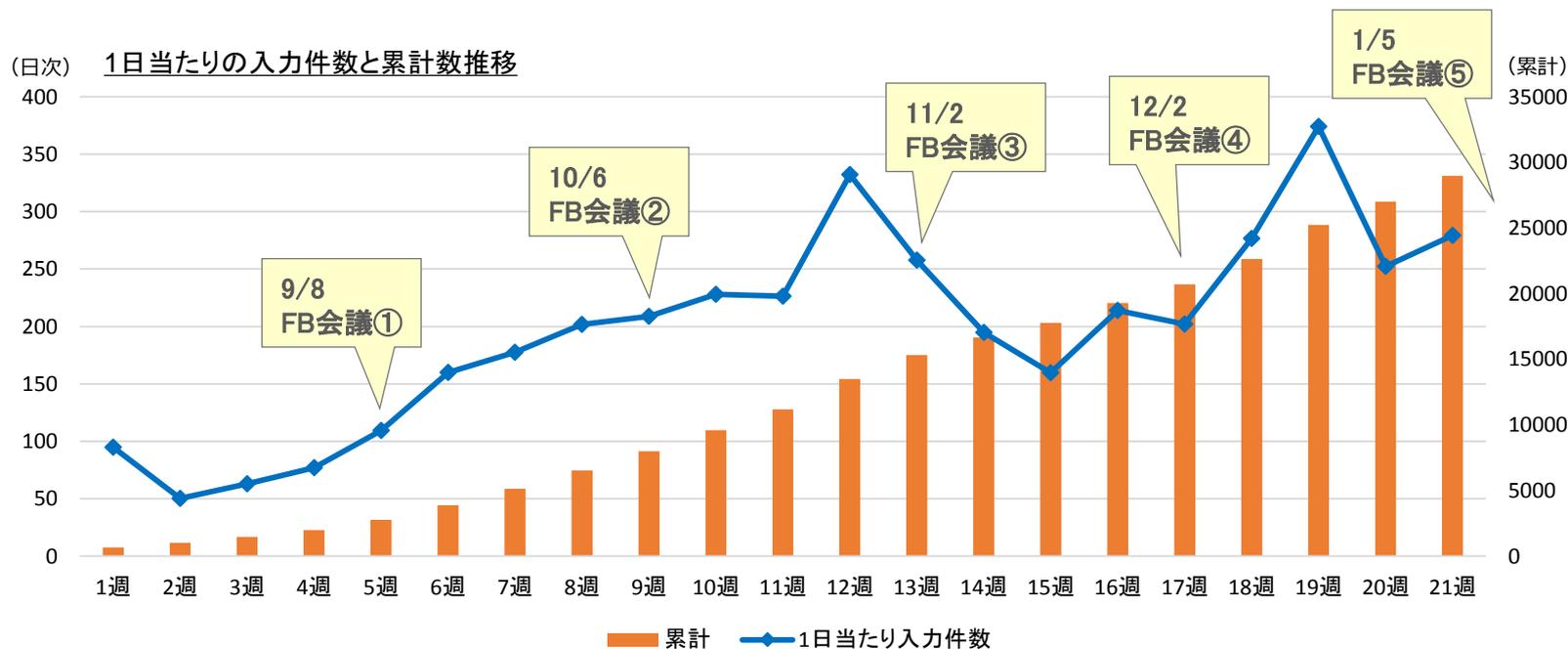
- ▶ 利用者の何に気付かなかったかがわかる
 - 気づきデータの欠落に意味がある
 - ✓ 特定の利用者の入力件数が著しく少ない
 - ✓ 特定の利用者だけ、声かけが全くされていなかった 等
- ▶ 気づき方の違いがわかる
 - 利用者に対する見かた(評価)が違った事がわかる
 - 介護スタッフ毎に気づきやすい変化、気づきにくい変化の傾向がわかる
- ▶ 利用者の中長期的な状態の変化がわかる

2.気づきの見える化とは？—状態把握システム「MIMOTE」

映像をご覧ください

3. 状態把握システム「MIMOTE」導入状況

- ✓ 実証期間(気づきデータ入力期間): 2017年7月29日～現在 (継続中)
- ✓ 取り組み対象:
 - ご利用者: Aグループ 24名
※A～Dの4グループ中、Aグループのみで先行導入
 - 介護スタッフ: Aグループ10名+主任1名
- ✓ **入力気づきデータ件数: 5ヶ月間で28,976件** (2017年7月29日～2017年12月22日)
- ✓ FB会議開催状況: 月に1度のペースで5回開催



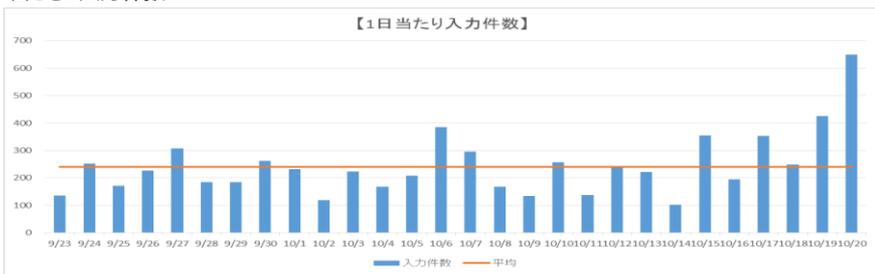
3. 状態把握システム「MIMOTE」導入状況 ～気づきデータグラフ例

FB会議で利用するグラフ
をいくつかご紹介します

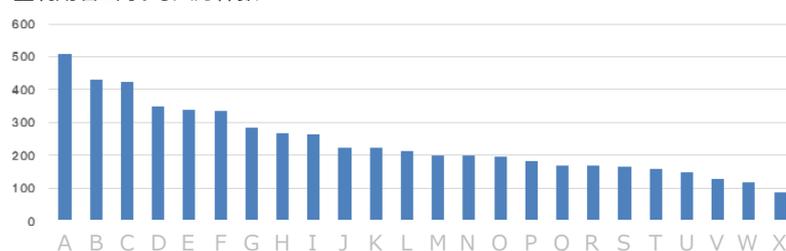
全体のグラフ

全介護スタッフによる全利用者に対する入力を集計したグラフ

日ごとの入力件数



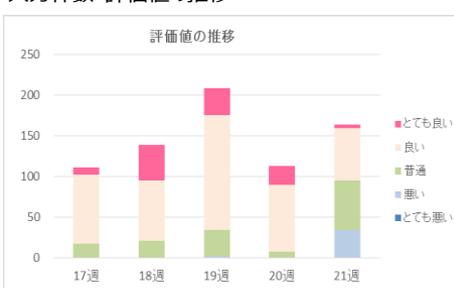
全利用者に対する入力件数



利用者別グラフ

各利用者別に集計したグラフ

入力件数・評価値の推移



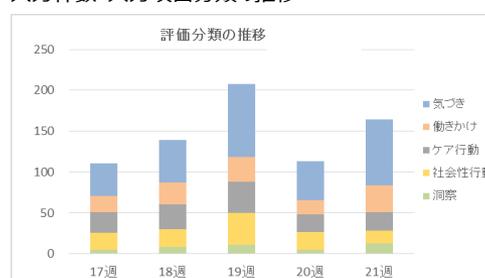
入力介護者数・入力項目分類



介護士別グラフ

各介護スタッフ別に集計したグラフ

入力件数・入力項目分類の推移



項目別評価値



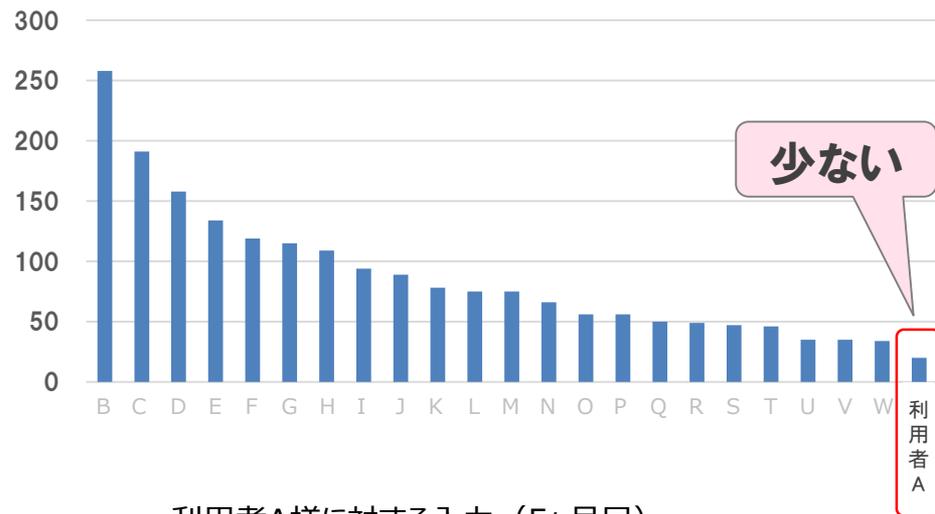
入力した利用者数・入力件数



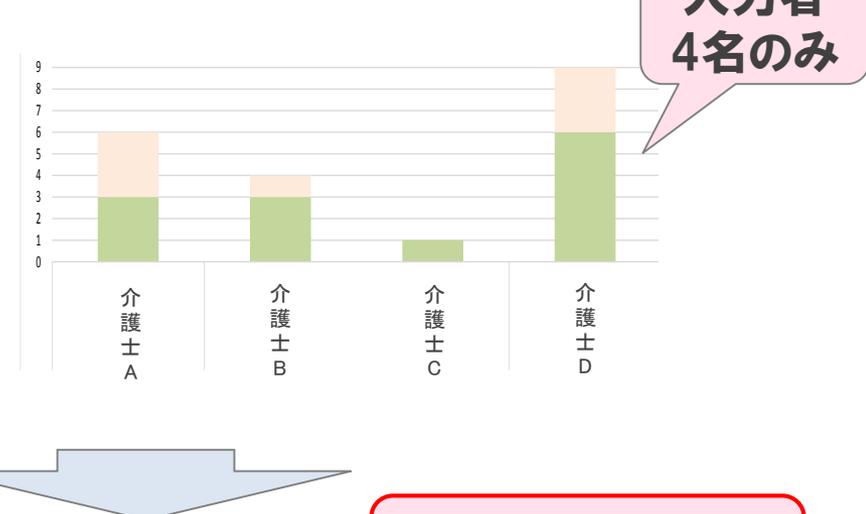
3.状態把握システムの導入状況 ～MIMOTE導入効果例

変化の少ないご利用者A様に対する「気づき」が少ないことが「見える化」されました。「見ていたようで見ていなかった」ことが共有され、介護スタッフの意識改革に繋がりました。

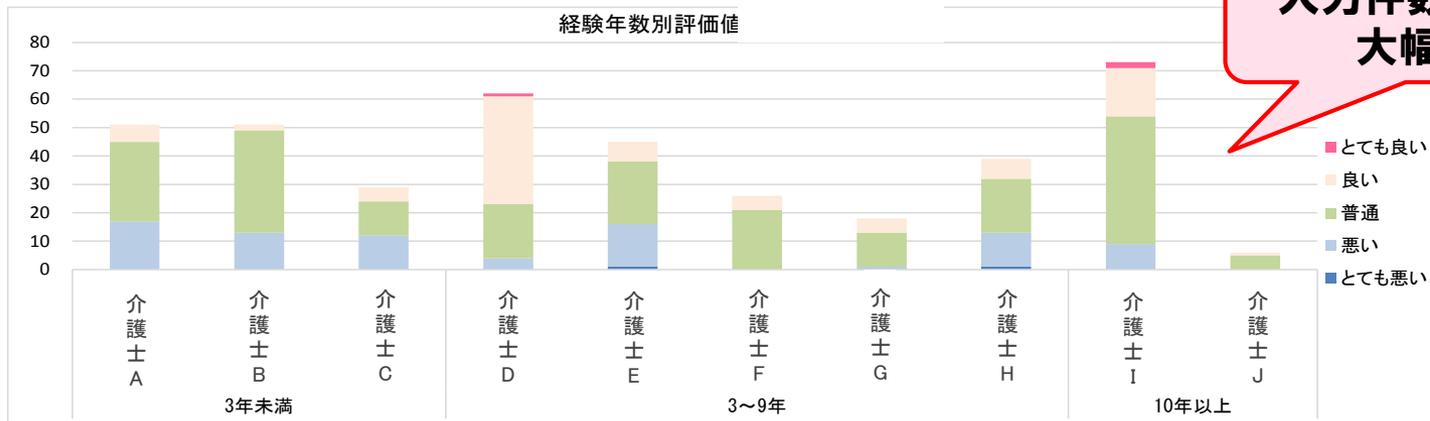
利用者別入力件数（1ヶ月目）



利用者A様に対する入力（1ヶ月目）

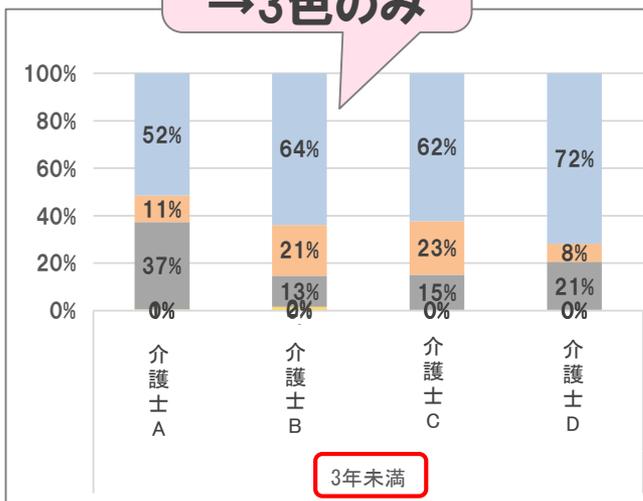


利用者A様に対する入力（5ヶ月目）

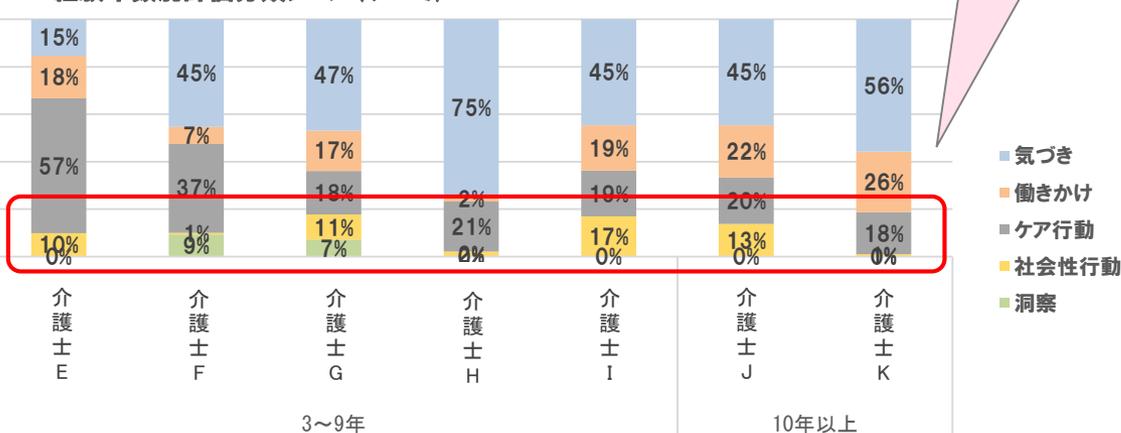


3.状態把握システムの導入状況 ～MIMOTE導入効果例

3年未満
→3色のみ

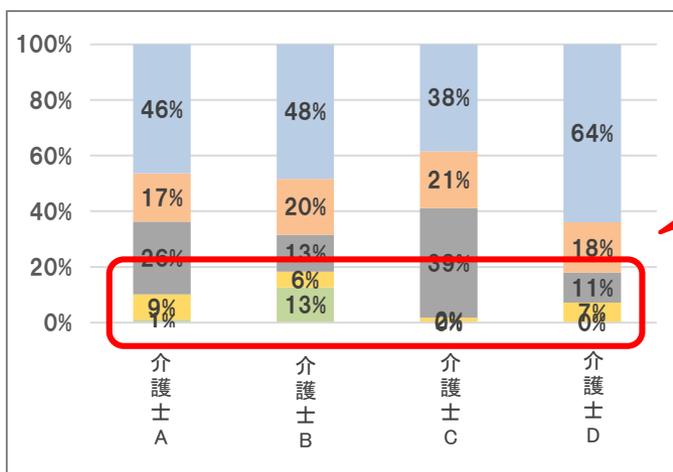


経験年数別評価分類シェア (すべて)



3年以上
→4～5色

3年未満



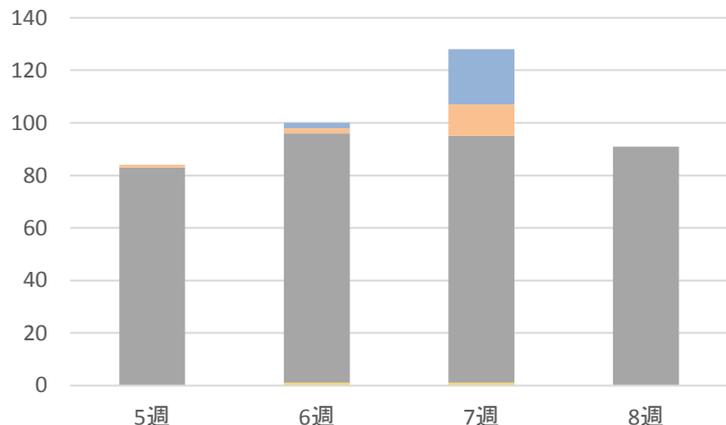
3年未満も
4～5色へ

3年未満の介護スタッフも、5分類すべてに気づけるようになりました。
様々な場面で、ご利用者の状態を観察できています。

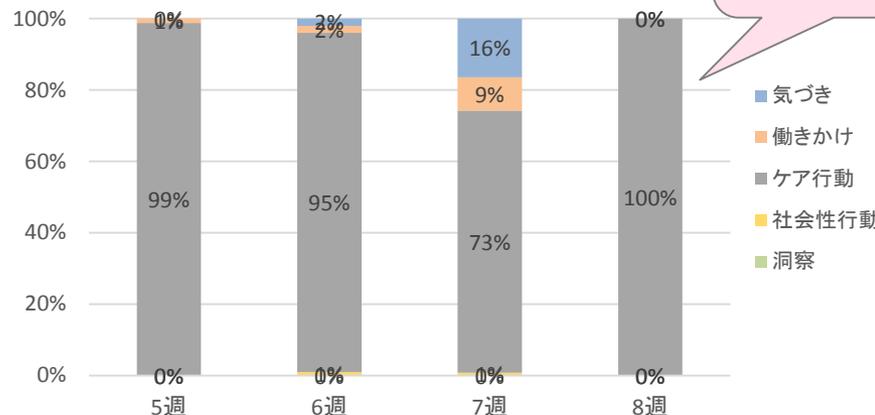
3. 状態把握システムの導入状況 ～MIMOTE導入効果例

介護士Aの入力（2ヶ月目）

評価分類の推移（介護士A）



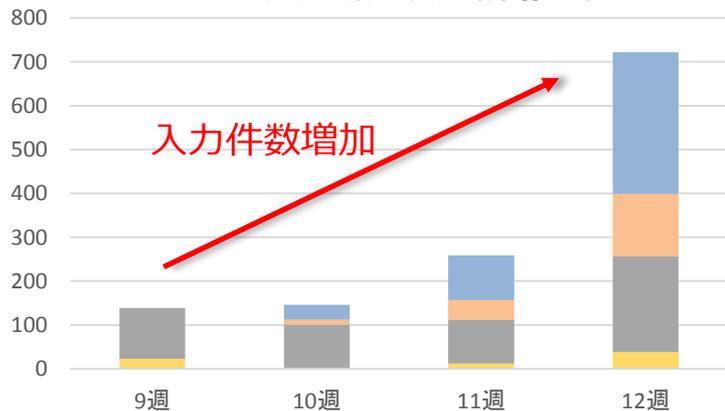
評価分類シェアの推移（介護士A）



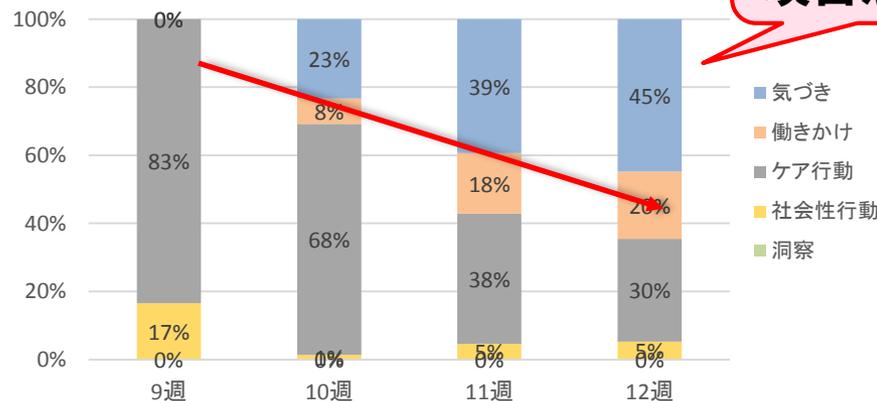
ほぼ
「ケア行動」

介護士Aの入力（3ヶ月目）

評価分類の推移（介護士A）



評価分類シェアの推移（介護士A）

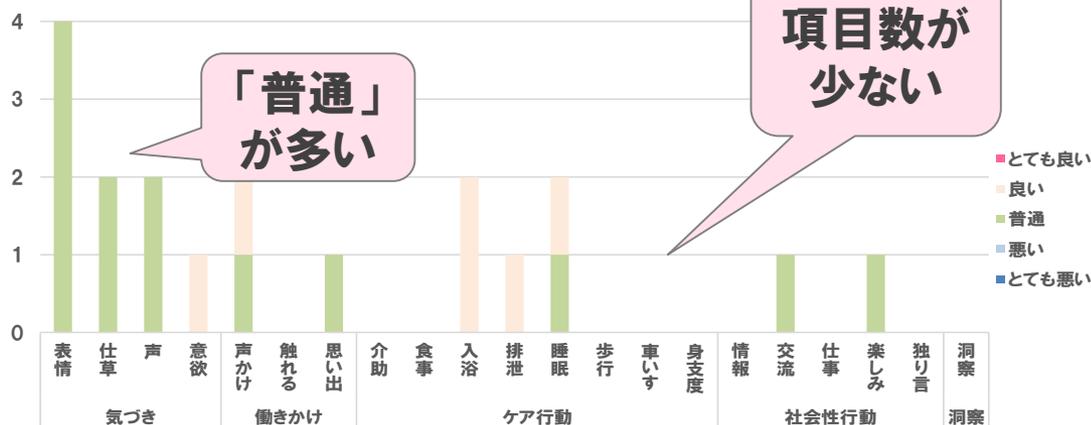


「気づき」
項目が増加

3.状態把握システムの導入状況 ～MIMOTE導入効果例

利用者B様に対する入力（1ヶ月目）

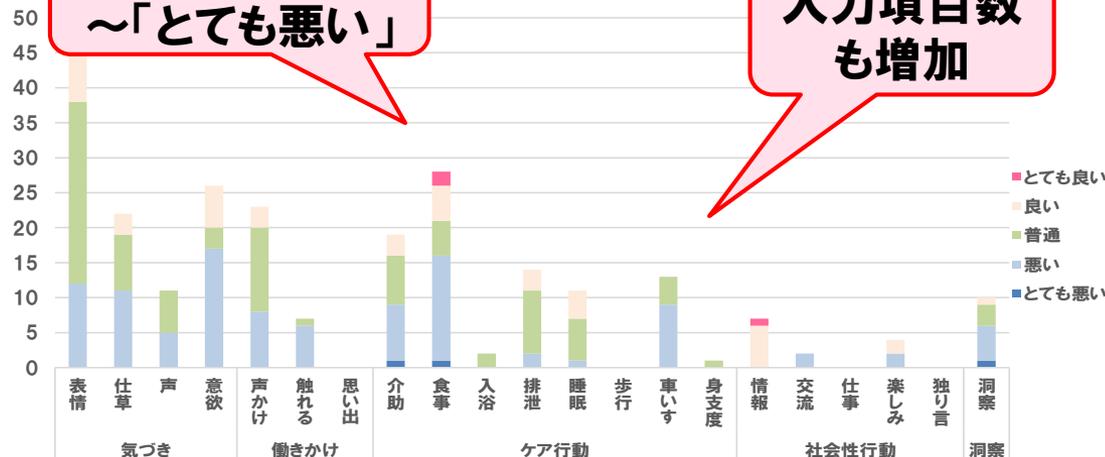
項目別評価値（利用者B）



「普通」が多かったので、「B様の『普通』とはなにか」を話し合いました。

利用者B様に対する入力（3ヶ月目）

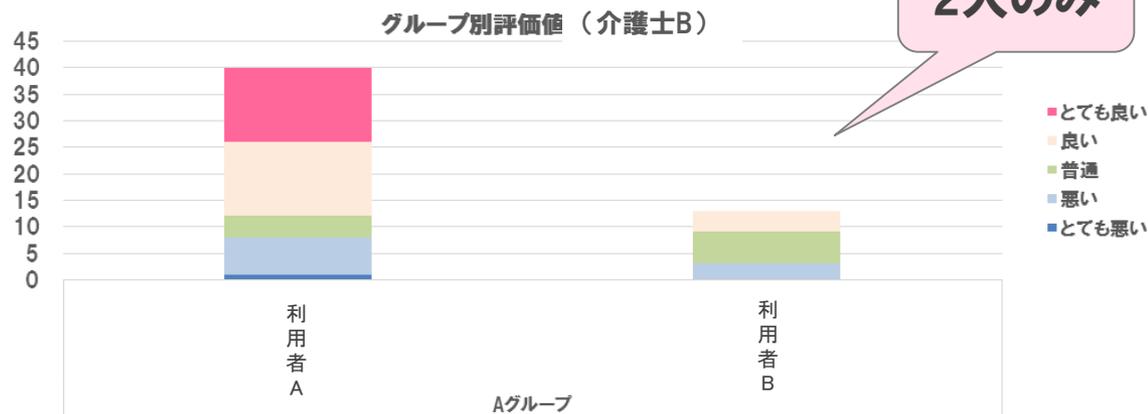
項目別評価値（利用者B）



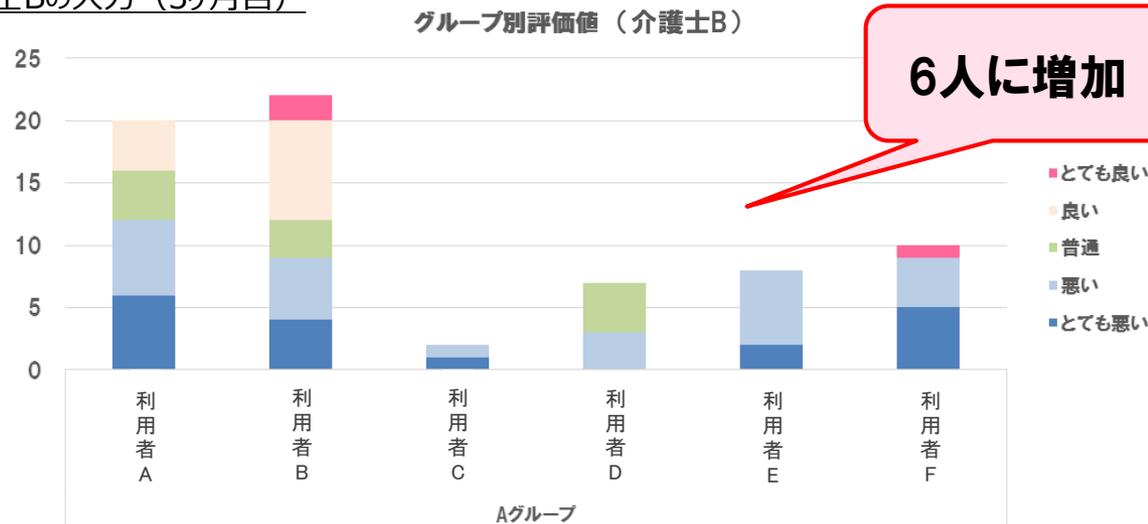
「普通」の理解を深め共有できたことで、B様の微妙な変化にも気づけるようになりました。

3.状態把握システムの導入状況 ～MIMOTE導入効果例

介護士Bの入力（1ヶ月目）



介護士Bの入力（3ヶ月目）



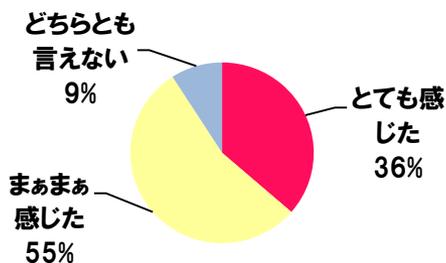
介護スタッフ1人あたりの入力ご利用者数が増加しました。ご利用者一人ひとりにきちんと向き合えるようになっています。

4.介護スタッフに向けたアンケート回答より

「気づき」が見える化されたことで、今までわからなかった、介護スタッフ間の「違い」を認識できました。その「違い」を共有し、理解し合うことが、今後の介護に役立つと多くの介護スタッフが感じています。

「気づき」の「違い」を実感

同じ利用者に対してでも、介護スタッフ間で「気づき」の違いがあると感じましたか。



- とても感じた
- まあまあ感じた
- どちらとも言えない
- あまり感じなかった
- 全く感じなかった

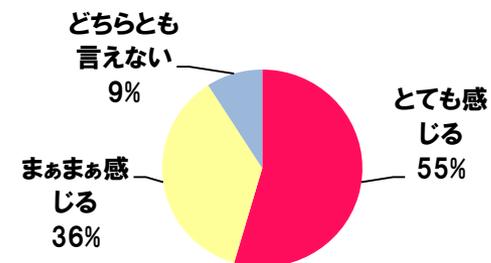
フィードバック会議を通じて、自分と、他の介護スタッフとの間で、気づき方に違いがあると感じましたか。



- とても感じた
- まあまあ感じた
- どちらとも言えない
- あまり感じなかった
- 全く感じなかった

「気づき」共有の重要性

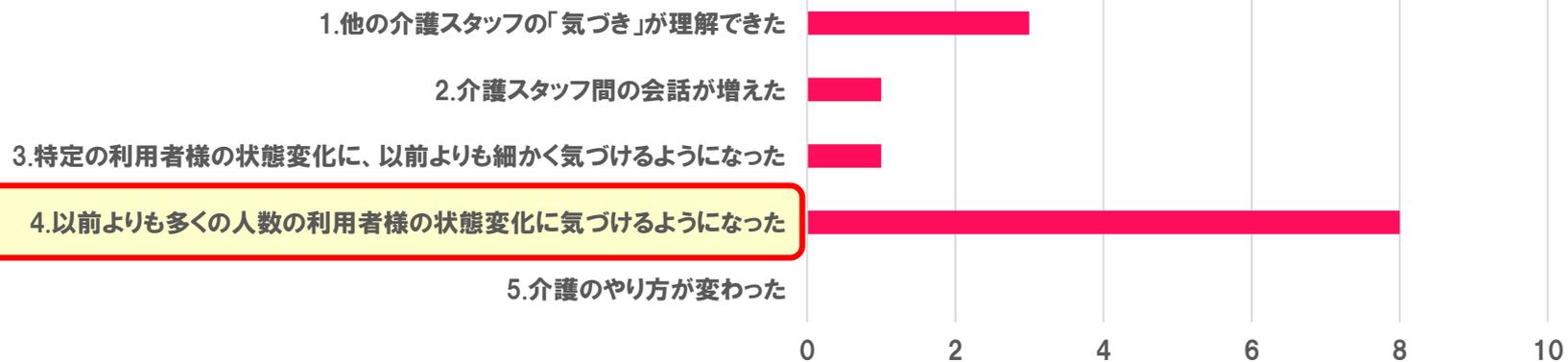
他の介護スタッフの「気づき」について理解することは、自身の介護に役立つと感じますか。



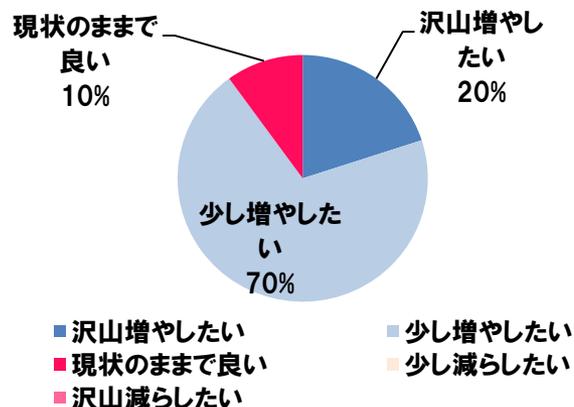
- とても感じる
- まあまあ感じる
- どちらとも言えない
- あまり感じない
- 全く感じない

4.介護スタッフに向けたアンケート回答より

MIMOTEを使って良かったと思うことがあれば、教えて下さい。



MIMOTEのデータ・グラフについて、現場スタッフ同士での話し合いの時間を今後どのようにしていきたいと思いませんか。



半数以上の介護スタッフが、MIMOTE導入前よりも多くのご利用者に気づけるようになったと感じています。

「もっと話し合いたい」という意識が芽生えています。今後は話し合いを重ね、具体的な分析を通じたサービスの質の向上へ繋げていきます。